

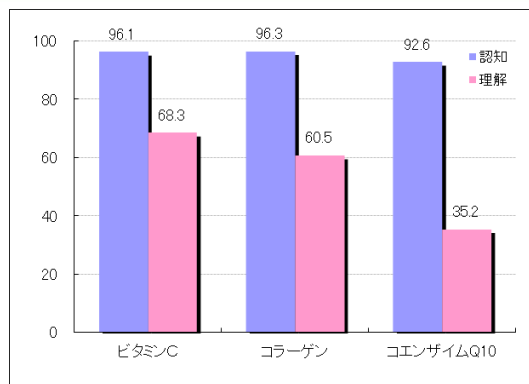
「今後注目したい成分・素材」に関する追跡調査

オリコン・コミュニケーションズ

昨年4月に実施した、「美容意識」に関する調査において、美容にこだわりが高い女性はスキンケア商品の成分・素材を重視しているという結果から、美容にこだわりが高い人が選ぶ「美容のために使ったことがある成分・素材」と「今後注目したい成分・素材」を調査しました。そこで1年たった現在、「今後注目したい成分・素材」は、その後どのような認識をもたれているのかを検証してみました。

「美容のために使ったことがある成分・素材」の認知度と理解度

昨年すでに「使ったことがある」としてTOP3にあげられた成分・素材は現在、平均95%が「知っている」と回答し、平均54.7%が「どんなものか理解している」と回答。

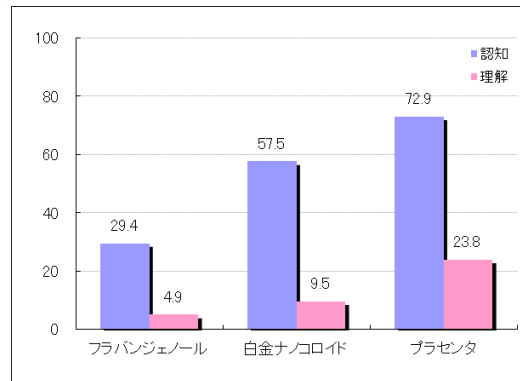


認知: N=3,371 理解: N=3,334

それに比べ...

「今後注目したい成分・素材」の認知度と理解度

昨年「今後注目したい」としてTOP3にあげられた成分・素材の現在の認知は平均53.3%、理解(どういったものか知っている)は、わずか12.7%と、まだまだ低い様子。



認知: N=3,371 理解: N=3,334

そこで

昨年調査以降の約1年で、実際にそれらの成分・素材が配合されている商品を使ったことがある人から情報を収集してみました。

「成分・素材」に関する調査

◆調査対象: 30~50代女性 ◆サンプル数: 3,371サンプル ◆調査機関: オリコン・モニターリサーチ
◆調査期間: 2012.3.21~3.29 ◆調査地域: 全国 ◆調査手法: インターネット調査

「今後注目したい成分・素材」に関する追跡調査

『フラバンジェノール®』

美容にこだわりが高い人が選ぶ「今後注目したい成分・素材」で1位に選ばれた「フラバンジェノール®」。認知度及び理解度はまだ数値が低いようだが、利用者(N=149)の感想はどうだったのでしょうか？

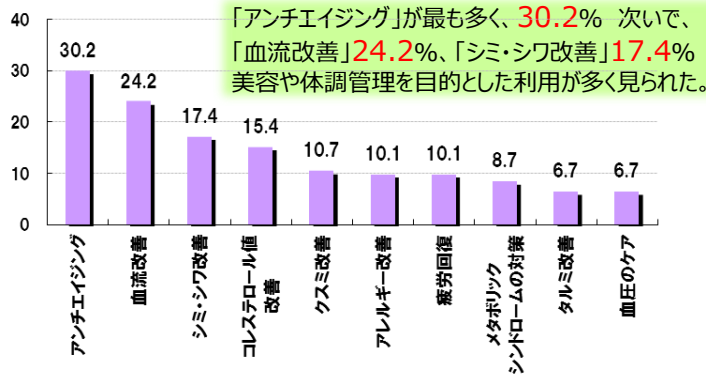
What's「フラバンジェノール®」??

フランス南西部に生育する海岸松の樹皮から抽出したもので、ビタミンCの約600倍の抗酸化力を持つ。日本でも化粧品や飲料などの原料として利用されている。

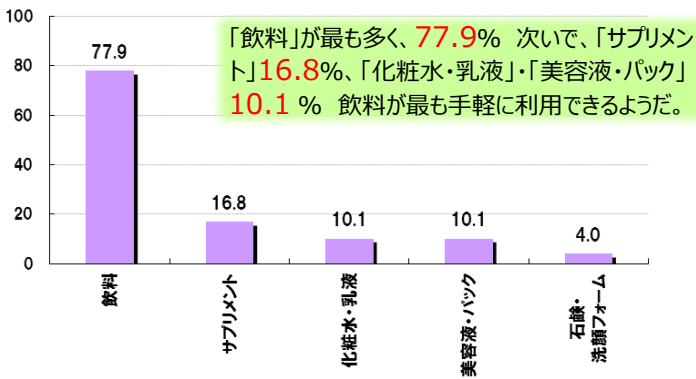


日本の松に比べ、樹皮の厚さが2倍以上もあり、その中に自分を守る力が蓄えられている

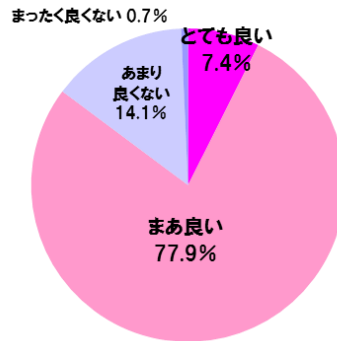
Q:利用目的は？



Q:利用した商品の形態は？



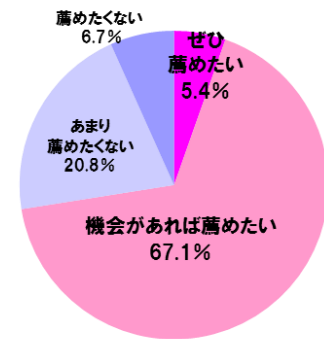
Q:商品を利用してみたい感想は？



85.3% が良いと回答

「お肌の調子が翌日良かった。(東京都/30代)」「効果がじわじわ感じられて良い。(東京都/30代)」「肌への浸透がいいのかしっとりして長時間続いた。(鹿児島県/50代)」

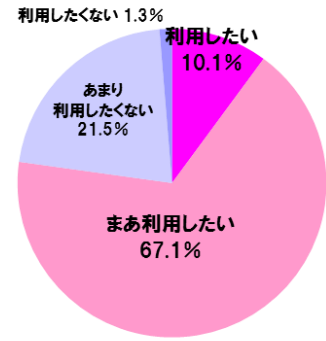
Q:今後、人に薦めたいか？



72.5% が薦めたいと回答

「効果がしっかりと実感できるから。(兵庫県/50代)」「継続すれば良い効果を感じられているようだ。今後、商品に触れる機会が増えれば、より認知度も上がり、フラバンジェノールの恩恵を受ける人も増えるのではないだろうか。」

Q:今後の利用意向は？



77.2% が利用したい回答

「すごく調子がよくなったから。(東京都/40代)」「血流改善効果があったので。(神奈川県/50代)」「自然の樹木から取れた成分なので、安心して飲める。(神奈川県/50代)」

「フラバンジェノール®」への要望

「もう少しお手頃価格にしてください。(埼玉県/30代)」「高価なものが多いのでお手頃な値段のものもあるとより手軽に使えます。(北海道/40代)」といった価格に関するもの他、「即効性があると嬉しい。(愛知県/30代)」「手軽に身近に購入することが出来るようになれば良いと思う。(兵庫県/30代)」「日本では、まだ知っている人が少ないようなので、テレビ、インターネットなどでもっとPRしたほうが良いと思う。(神奈川県/50代)」などの意見が見られた。

「フラバンジェノール®」の総評

認知や理解は低い結果だったが、利用経験者の評価は高く、長く継続的に続けることで、「肌がきれいに」「体調がよくなる」といった良い効果を感じられているようだ。今後、商品に触れる機会が増えれば、より認知度も上がり、フラバンジェノールの恩恵を受ける人も増えるのではないだろうか。

「今後注目したい成分・素材」に関する追跡調査

『白金ナノコロイド』

美容にこだわりが高い人が選ぶ「今後注目したい成分・素材」で2位に選ばれた「白金ナノコロイド」。認知度に比べ理解度はまだ数値が低いようだ、利用者(N=305)の反応はどうだったのでしょうか？

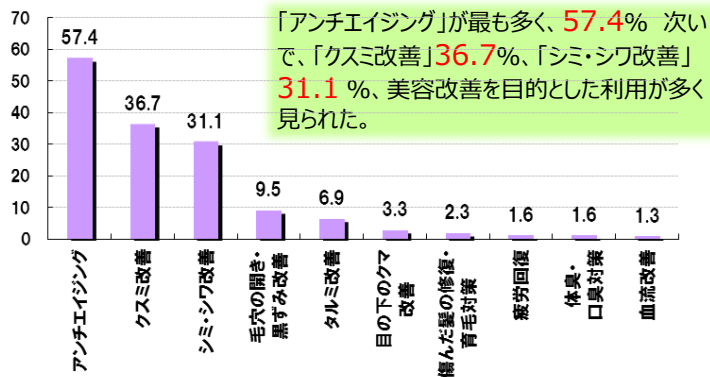
What's「白金ナノコロイド」??

白金ナノコロイドとは、白金（プラチナ）を2ナノメートル（ナノは10億分の1）という極小の粒径にした素材。白金は食品添加物として厚生労働省より認可されている。

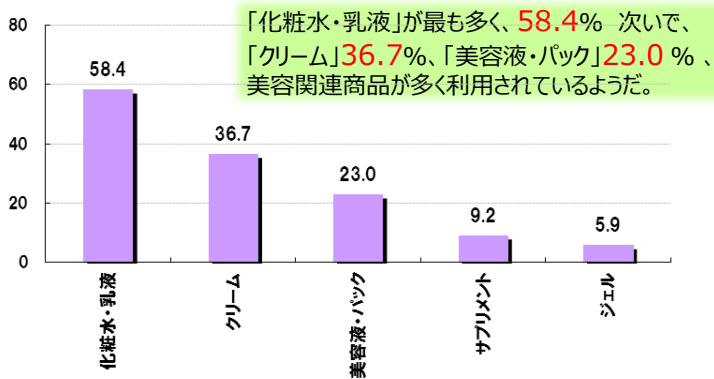


仮に地球を1ナノに縮小すると、ピンポン玉ほどのサイズになるそう。※写真はプラチナ

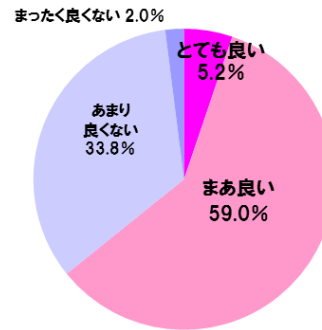
Q:利用目的は？



Q:利用した商品の形態は？



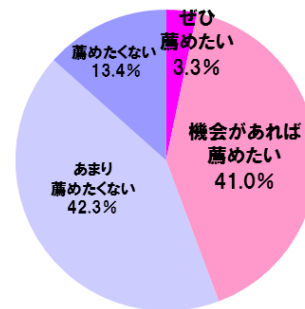
Q:商品を利用してみたい感想は？



64.2% が良いと回答

「肌が即効で明るくなった。（兵庫県/30代）」「汚れが落ちて白くなった気がした。（大阪府/40代）」「肌の調子がよくなった気がした。（埼玉県/30代）」

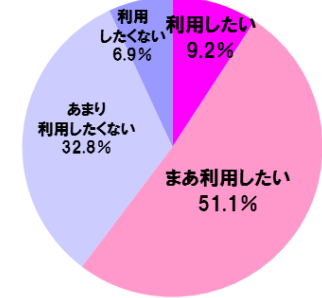
Q:今後、人に薦めたいか？



44.3% が薦めたいと回答

「肌の酸化をふせぐ成分だと思うから。（大阪府/30代）」「使用してみて、想像以上だったので。（埼玉県/40代）」「肌のくすみが薄くなった気がするから。（愛知県/30代）」

Q:今後の利用意向は？



60.3% が利用したい回答

「肌なじみも良いので利用したい。（埼玉県/50代）」「効果が出ているので使いたい。（神奈川県/30代）」「継続すること意味があると思うので。（長崎県/40代）」

「白金ナノコロイド」への要望

「値段を安くしてほしい。（兵庫県/30代）」「もっとお手軽価格で販売してほしい。（青森県/50代）」といった価格に関する要望の声は多く、「もっとわかりやすい効果を示してほしい。（千葉県/30代）」「どう効果があるのか、はっきりして欲しい。（神奈川県/30代）」「安全性をもっと全面にアピールして欲しい。（長崎県/40代）」「白金ナノコロイドが何なのか明確にしてください。（静岡県/50代）」など、目に見えない素材ならではのと思われる意見も見られた。

「白金ナノコロイド」の総評

認知に比べて理解度が低いといった結果の裏付けか、効果や安全性に対する要望が、目立ち、「目に見えない成分・素材」といった点が、効果のわかりづらさと共に、不安感を増幅しているのかもしれない。今後、理解が増していけば、認知と共に利用機会も増えていくのではないだろうか。

「今後注目したい成分・素材」に関する追跡調査

『プラセンタ』

美容にこだわりが高い人が選ぶ「今後注目したい成分・素材」で3位に選ばれた「プラセンタ」。理解度は低いが認知度は高い数値ですが、利用者(N=491)の感想はどうだったのでしょうか？

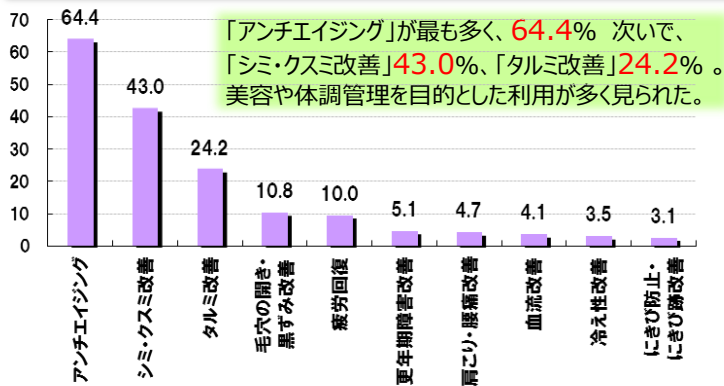
What's「プラセンタ」??

人間を含む哺乳動物の分娩後に出てくる胎盤のことで、ヒト胎盤は医薬品のみに用いられており、化粧品やサプリメントには動物性プラセンタや植物性プラセンタが利用されている。

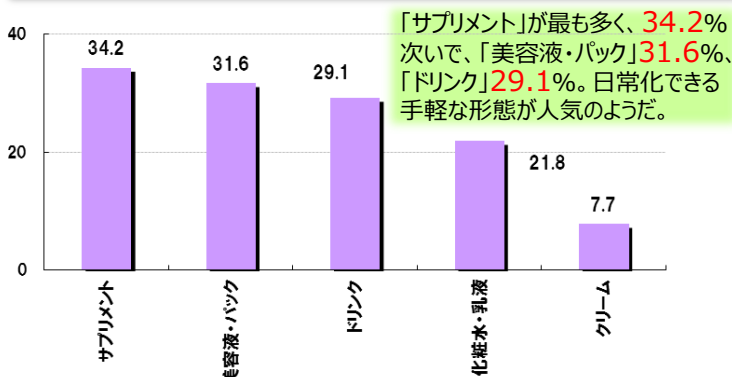


動物性は、豚・馬・羊などが、植物性は胎座とよばれる部分で使用されている。

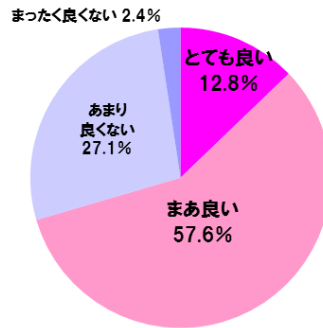
Q:利用目的は？



Q:利用した商品の形態は？

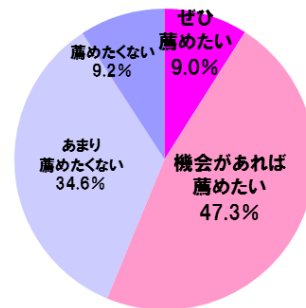


Q:商品を利用してみたい感想は？



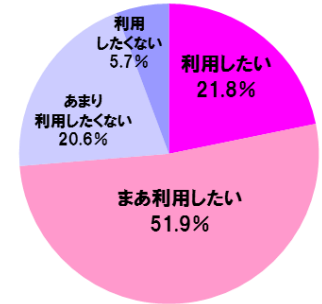
「肌のうるおい度が増し、乾燥が気にならなくなった。(神奈川県/30代)」
 「目に見えて疲れにくくなったし、肌の調子も良かった。(東京都/40代)」
 「朝起きるのがきつくなかった。(福井県/50代)」

Q:今後、人に薦めたいか？



「個人差はあると思うが効き目がいいので(宮城県/30代)」
 「効果を感じたから。(東京都/30代)」
 「体をベストな状態にもってってくれる。(愛知県/50代)」

Q:今後の利用意向は？



「シミが薄くなったという実感ができたから。(大阪府/40代)」
 「効果が感じられたので。(北海道/40代)」
 「手放せないくらい気に入ったから。(東京都/40代)」

「プラセンタ」への要望

「どうい物質からどんなプラセンタが取れているのか商品に書いてあると分かりやすい。(三重県/30代)」
 「プラセンタエキスの量の表示がとてもわかりにくいので統一してほしい。(愛知県/50代)」
 「といった原材料の詳細に関する点や、「もう少し金額が安くなればいいと思う。(神奈川県/30代)」
 「もっと安価で手に入るになればよいと思う。(神奈川県/30代)」
 といった価格に関する意見が見られた。「ニオイがなく飲みやすい商品にしてほしい。(神奈川県/30代)」などの改善要望の声も見られた。

「プラセンタ」の総評

認知は高く、利用経験者からの意見には、動物由来といった詳しい原料に関するコメントや、商品に対する具体的な要望等が見られた。効果を実感出来たという声も多く見られたので、今後も更に利用者の数や、触れる機会なども増えていくのではないだろうか。